

Rin Rin No.125

りんりん通信 2022年3月発行

りんりんの会
(乳がん体験者の会)



*凛(りん)として…自分のために！

*輪(りん)として…仲間のために！

*鈴(りん)として…社会のために！



2022.3/4
庭で見つけた福寿草

今年度の冬も大雪と寒さが続いた大崎地域ですが、そろそろ寒さにも別れを告げ暖かな春を迎えようとする時期、3月に入りました。皆さま、お変わりなくお過ごしでしょうか？

昨年秋ごろから、もしかしたらコロナも終息に向かうのでは？という期待を持ちつつ、定例会再開の準備をして参りましたが、残念ながら収まることなく、コロナ発生から3年目に突入しようとしています。

通年ですと、この時期は卒業式や送別会等の機会が多くなり、ちょっと寂しいお別れのシーズンになりますが、そこからまた新たな出会いや次の未来に向かってステップする為のスタートの準備期間にも変えられる時期でもありましたね。

りんりんの会も、この状況に屈せず、新たな出会いや輝く未来を信じて今まで同様に地道に活動を継続し、この状況下で出来ることを考えながら、皆様と一緒に前を向いて歩いて行きたいと考えています。

RinRin から、様々な形で「ピンクリボン運動（乳がんの早期発見・早期治療・サポート等啓発活動）」を広く発信していくことで、皆さんもご家族も一緒に笑顔になれる社会になることを願っています。

* RinRin(りんりん)の会の紹介記事が

「ヨミドクター」(読売新聞社医療サイト HP)に掲載されました♪ *

7年前にさかのぼりますが、10周年記念講演会(りんりん研修会)を地域施設で開催。りんりんの会は資金の乏しいボランティア団体でしたので、「正力厚生会」様から助成金を頂き、前聖路加国際病院精神腫瘍科医師 保坂隆先生をお呼びしての講演・パネルディスカッション(パネラーは保坂先生の他に、吉田先生・体験者・専門看護師さん)を実施することが出来ました。



2015.11月

昨年12月、正力厚生会担当者様よりご連絡を頂き、「ヨミドクター」(医療サイト)にて、過去に助成事業でサポートした団体の活動報告を毎月掲載しているとのことで、りんりんにもお声がけいただきました。

助成金を頂いてから7年も経過し、更にコロナ禍で活動もままならない状況ではありますが、「りんりんの紹介記事」を掲載していただくことで、今までの活動紹介とあわせて、東北宮城でも地道ながら長く継続して活動している団体があること、患者会としてピアとして、これからの希望(目標)など、たくさんの方々により身近に伝わってもらえればいかな〜と考えています。(お声がけ頂いた正力厚生会の担当者様、原稿作成に当たり、全面的にサポートして下さった方々、心から感謝申し上げます。)是非、のぞいてみてくださいね。

●「ヨミドクター 患者団体リレー活動報告」で検索

●または、[RinRin\(りんりん\)の会 | ヨミドクター\(読売新聞\) \(yomiuri.co.jp\)](http://RinRin(りんりん)の会 | ヨミドクター(読売新聞) (yomiuri.co.jp))をクリックしてみてください。



「ワールドキャンサーデー」ってご存じでしたか？

- 毎年 2 月 4 日はワールドキャンサーデーです。
世界中のひとりひとりが、がんに関する意識を高め、知識を増やし、がんに対して行動を起こすことを目的として、世界が一体となって各地でさまざまな取り組みを行う日です。
- このワールドキャンサーデーの日に、17 時 30 分～18 時 15 分までライトアップ点灯式オンラインで配信され、世界各地の夜空がブルーとオレンジにライトアップされました。国内 15 箇所の協力施設の中で、宮城県内では「仙台スカイキャンドル」で実施されています。

～2/2(水)ミヤギ news every.で放送～

「患者に寄り添ってくれる場所があること」を知っておいてほしい！

- その「ワールドキャンサーデー」に合わせた特集が、2 月 2 日 (水)ミヤギ news every.(宮城テレビ)で放送されました。

～放送内容～

- ① 仙台在住の乳がんサバイバーさんのお話（がん体験者のインタビューと患者会の存在）
 - ② 県立がんセンターの院長先生のお話（各病院に相談支援センターが存在しており、どなたでも相談出来る場所があること）
 - ③ 「がん患者会サロンネットワークみやぎ」副代表(高橋)の話(県内の患者団体と病院サロンなどが加入しているネットワークの活動紹介と患者会の意義など)
- 放送後に企画担当の方からこのようなメッセージが届きました。

ワールドキャンサーデーがあることを先ずは知ってほしい！

それを機に「がん」について知ってほしい！

がんになる前に寄り添ってくれる場所があることを知っておいてほしい！

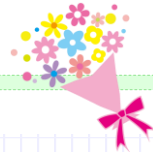
そんな思いで今回の企画を製作したいと決めました。

感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

- がんを体験して現実に困ったことが私自身もたくさんありました。その体験を次の方に情報として伝える役割もあるのかなとも思いましたし、県内には様々な患者団体や相談支援センター等があることから、「話せる場所がある」「聞いてくれる人がいる」という身近な情報をもっと広く発信していく必要があると痛感しました。

* 今後の予定についてご連絡 *

通常であれば、4 月に総会・講演会（「Dr.吉田の乳がん講座」）を開催し、活動報告や決算報告、新年度の年間計画などをお示しする機会を設けておりましたが、現在の状況から一堂に会しての開催は難しいと考えております。当面、会員の皆様には 2 か月に一度の「りんりん通信郵送での情報提供」を継続致しますが、皆様からのご要望（「こんなことを掲載してほしい」「こんな情報が欲しい」）又は「最近、こんな研修会に参加したよ」等がありましたら、ご遠慮なくお知らせください。皆様からの情報提供もお待ちしております。



「令和の世にも凜として」

石巻赤十字病院プレストセンター長 古田 昭彦

「りんりん」に書かせていただくのは設立 11 周年の時以来ですね。

皆さんいかがお過ごしでしょうか。

本来なら明るく前向きな話に終始したいのですが、**・**現在、新型コロナ感染が世界的なパンデミックとなって 3 年目に入りました。直近ではロシアによるウクライナ侵攻、東アジアでも中国による周囲国家への恫喝が続くなど、世界は 20 世紀初頭のような暗澹とした雰囲気漂っています。地球規模の気候変動に対し人類皆が力を合わせなくてはと叫ばれている中で。

とはいえ私自身は元来楽観的な性格なもので、なるようにしかならない、淡々と今なすべき事をこなすだけと割り切ることにしています。そりゃ、周囲を見渡せば少子高齢化や地方における医療危機など深刻な問題は挙げればきりがありませんが、これは日本人のみならず人類すべてが直面している歪みの一端を見ているのだと思います。むしろ我々はトップランナーとしてよりよき世界・社会を切り開いていく立場に躍り出たのだと解釈しています。残念ながら私自身は引退の時期を迎えつつありますが。

私事になりますが、この 3 月で現職を辞することにしました。在職 25 年（四半世紀！）になります。乳腺外科の立ち上げ、プレストセンターの開設などを通じて乳癌診療に、地域の人々に、よりよきものを提供しようと頑張ってきたつもりですが、**・**正直に申しますと、何度も挫折しそうになりました。特にはじめの頃は。「こんな理解のないくそ病院早く辞めてやる！」とか「なぜ、もっとみんな理解してくれない、手伝ってくれない！」とか。今思えば、独りよがり、空回りもしていました。それでも徐々によき仲間達が現れて、よりよき方向にこれたかなと思っています。もちろん、りんりんの皆さんもそのよき仲間です。本当に楽しい思い出ばかり浮かんできます。

「新しい酒は新しい袋に入れよ」

医療はどんどん進化し、新たな課題も出てきます。今後は後進に委ね、さらなる発展を期待しております。

私も出しゃばらずもお手伝いをさせていただこうと思っています。皆さんもどうぞお達者で、これからもよろしく願いいたします。



【事務局より】

今回の通信コラムは、石巻赤十字病院プレストセンター長の古田昭彦先生にご依頼させていただきました。

実は、大崎市内の某ケーキ屋さんで、りんりんの会メンバーと古田先生率いる豪華な面々でお会いする機会があり、コーヒーとケーキをご馳走になりながら患者会の話をもたせられたのが 17 年前、りんりんの会がスタートした翌年のことでした。その後から、毎年「りんりん研修会」開催の度にご参加いただいたり（時には終了後の会場片付けまで!!）打ち上げの席にもご一緒していただいたり…。たくさん手厚いサポートを頂き、心から感謝しておりました。

退職されるということで、りんりんの会としても寂しい限りではありますが、今後も患者会活動を継続して行くことで、ささやかな恩返しをさせていただきたいと考えております。

<お問い合わせ>

●りんりん携帯 090-6259-9205

✉ strinrin320@gmail.com

